

平成19年7月

お得意様 各位

株式会社ウチダ和漢薬

## 弊社の安全性への取り組みについて

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨今、中国製の歯磨き粉に有害物質であるジエチレングリコールを使用していることが判明し、生鮮ショウガからもBHCが検出されるなど、中国産の医薬品や食品の安全性について様々な事例が報じられています。

今般、弊社の基本方針「安全・安定・安心」に基づく生薬の品質確保について、改めて取り組みをご説明いたします。

弊社は平成14年から、鉱物を除く全ての輸入生薬を対象とし、総BHC、総DDT、重金属及びヒ素の検査を全原料ロットにおいて実施し、全ての製品について安全を確認して製造しております。これを上乗せする形で、禁止農薬であるキントゼンやアルドリン、ヘプタクロルなどについてもチェックし、有機リン系やピレスロイド系農薬の残留検査も必要に応じて追加しております。さらに、食品として扱う生薬に関しては、上記試験に加え、昨年施行されましたポジティブリスト制度を考慮し、残留農薬の一斉分析による確認も進めております。

一方、トレーサビリティの強化につきましても、これらの検査と並行して取り組み、合弁会社である天津新内田製薬有限公司・資材部の現地スタッフならびに弊社仕入スタッフとともに研究開発や品質管理の専門社員が現地調査に加わり、使用されている農薬やその使用方法などを把握し、適正な栽培が出来るように履歴管理の対応を行っております。

現在、中国は急激な経済発展を遂げつつあり、有機栽培の大豆や栗などに代表される良い製品・安全な製品も生産されています。その反面、冒頭で述べたように粗悪品の存在も無視出来ず、生薬についても中国市場品からBHCやDDTが検出されることもあります。中国におけるごく最近の原料段階でのチェックにより、ヒ素濃度が高い物が見つかっている実例もあります。このような生薬は、弊社の原料全ロット検査によって、お得意様の元へ供給されることはありません。製剤におきましても同様に、検査を経た原料を使用し、自社国内工場で製剤化していますので、安心してご使用いただけます。

残留農薬や重金属、ヒ素につきましては、今後も薬局方にその規制値が載りつつあります。安全で良質な生薬を求めるには、局方試験のみならず厳しい自社基準に基づいた試験が必要不可欠であり、中国情勢に精通し、産地に根差した活動も重要になります。

弊社は、生薬製造業者として中国政府のGMP認証ならびに日本政府の外国製造所認定を取得している天津新内田製薬有限公司と密接に連携を取り、併せて日本国内での試験にも力を入れております。

これからも「安全・安定・安心」のトリプルAの方針に基づき、安心してご使用いただける生薬の供給に努めてまいりますので、今後共変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

敬 具